



厳肅に執り行われた顕彰祭



報 館  
 玄洋123号  
 平成28年1月1日  
 発行  
 一般社団法人  
 玄洋社記念館  
 郵便番号 810-0062  
 福岡市中央区荒戸三丁目  
 6番36号  
 西公園ハイツ201号  
 電話 (092) 762-2511  
 FAX (092) 762-2502

### ことしは生誕 130 年

## 厳肅に中野正剛先生顕彰祭

### 政治家としての姿勢たたえる

#### 玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ 敬戴ス可シ
- 第二条 本国ヲ 愛重ス可シ
- 第三条 人民ノ権利ヲ 固守ス可シ

#### 今号の主な内容

- ▽崇福寺で玄洋社物故者慰霊祭を齋行 2面
- ▽加藤司書公150回忌の法要 3面
- ▽勤皇二烈士の墓守る玄界島の人たち 4面
- ▽孫文ことし生誕150年 5面
- ▽賛助会員芳名録 5面

熱血政治家、中野正剛先生を顕彰する「中野正剛先生顕彰祭」が昨年十月二十四日、福岡市中央区今川一丁目、鳥飼八幡宮境内の中野先生の銅像前で執り行われた。

中野正剛先生顕彰会の主催。同会会員はじめ福岡市議会の「玄洋社に政治を学ぶ議員の会」会員、初参加の方々など約五十人が参列した。

銅像の前で、同八幡宮の山内勝二郎宮司を祭主に式典の神事が厳かに進められた。

挨拶に立った同会の吉村剛太郎理事長は、月刊総合雑誌の対談を読んだ、中野先生は日中問題を何とかしなければならぬかと思っていたことがうかがえた、として「中野先生は、自分は政治家として何をなすべきか、政治家としての責任を考えていたと思う。これは現在の政治の世界にも通じる考えといえる」と中野先生の政治家としての姿勢をたたえた。

式典の後、会場を八幡宮参集殿に移し、直云(なおらい)が開かれた。前玄洋社記念館理事、浅野秀夫氏の元玄洋社記念館理事長、故妹尾憲介氏のシベリヤ抑留にまつわる講話の後、懇談に移った。出席者は中野先生や高場乱、玄洋社先覚についてなど語り合った。

中野先生は明治十九年二月十二日、福岡市西湊町、現在の中央区荒戸一丁目十番で生まれた。ことしは生誕百三十年の節目の年に当たる。中野先生の偉業に改めて目を向けるよい機会である。

# 頭山満翁並びに玄洋社物故者 慰霊祭を齋行

明道会



厳かに齋行された慰霊祭

頭山満翁はじめ玄洋社物故者の慰霊祭が昨年十月四日、玄洋社墓地がある福岡市博多区千代四丁目の崇福寺本堂で齋行された。

一般財団法人明道会

(山崎拓理事長)の主催で、同日は約二十人が参列した。祭壇に頭山翁の木彫像が安置された本堂で同寺の岩月海洞住職を導師に般若心経の読経があ

り、遺族代表、頭山晋太郎氏(頭山翁の曾孫)ら参列者が焼香して物故者を慰霊した。

山崎理事長は挨拶で、前日に同市で開催された「第十三回藩校サミット福岡大会」に触れ、次のように述べた。

「きのう、全国から三十二の藩校の関係者が福岡に集合した。当寺には(藩校・修猷館Ⅱ現、修猷館高校Ⅱを開設した)黒田藩・黒田家の墓地がありサミット参加者はきよう参拝するだろう。昨年のNHK大河ドラマで

黒田藩の藩祖、黒田官兵衛が取りあげられたが、玄洋社は黒田藩の流れをくむ。いま、各方面から玄洋社を再評価する声が聞かれる。本日、参加の皆様には今後も玄洋社の偉業伝承をよろしくお願

いしたい」

参列者には、玄洋社とインド独立運動に関する資料などが配布された。なお、同サミットは、藩校教育の精神を次代に生かすことを目的にする。藩主の子孫らも参加して、記念講演などが行われた。

## 山門周辺が一新

崇福寺の山門周辺の景観整備が行われ、装いが一新した。

従来、人と車が一緒に通っていた道路から山門までの参道は、車の通る道が塀で分けられ、双方が通りやすくなった。

参道もきれいな石畳に生まれ変わり、灯籠が設置された。山門の横にあった「頭山満先生之墓所」の石柱は、道路沿いの目

立つ位置に移設された。

参道に並んでいた土産店は整理され、境内に新しい店舗が登場した。一昨年のNHK大河ドラマ、黒田官兵衛のブームにあやかった「官兵衛まんじゅう」が新名物になっている。

山門は慶長年間に建造された筑前黒田藩・福岡城本丸の表門。大正六年十一月、崇福寺に移築され翌年四月に落成した。福岡県の有形文化財。

# 筑前風濤録

〈7〉

頭山満と玄洋社

柳 猛直

題字は進藤一馬福岡市長

## 試練の時代

(前号より続く)

従って「御先規に外れ候と申す訳も、これあるまじく存じ奉り候」ということになる。いささか「白馬は馬にあらず」に類する詭弁(きべん)だが一理ある。

では開国の場合の得失はどうか。アメリカに通商を許可したならば「オロシヤ」「アンゲリヤ」「フランス」も開国を要求してくるであろう。

この場合は相手を見て方策を立てなければならぬ。ロシアは文化元年(一八〇四年)にレザノフが開国の使節として長崎にやってきた。

「オロシヤ儀は先年、使節レザノット罷越(まかりこし)候節、御不都合の御取計らいにて御外聞もよろしからず」

と幕府の扱いを批判している。従ってアメリカに通商を許したならばロシアが開国を要求してくる前にアメリカ同様、許可をすることが順当であると長溥はいう。

イギリス、フランスに対してはどうか。これは許可をしない方がよしい。この両国はアジアの国々を盛んに侵略しており表裏のあるずい国であるから付き合えない方がよい。

しかし、開国を許可しなければ武力に訴えてく

# 加藤司書公150回忌

## 勤皇党諸烈士を追悼

### 司書太鼓ことしも来演

節信院



司書公の肖像画と木彫像が安置された祭壇で焼香する参列者

福岡藩の勤皇派弾圧事件「乙丑(いっちゅう)の獄」で犠牲になった家老、加藤司書公と勤皇党藩士の追悼会が司書公の命日に当たる昨年十月二十五日、菩提寺の節信院

(福岡市博多区御供所町)で齋行された。昨年、司書公の百五十回忌に当たるため、例年の追悼会を上回る二百人近い人が参列した。「若宮司書太鼓」は前年に続

きこの日も来演した。

喜納浩一住職の読経に

続いて焼香が行われた。

司書公の姿を描いた掛け

軸と木彫像が安置された

祭壇に参列者の長い列が

できた。続く清興で筑前

琵琶旭会代師範、米村旭

翔師が「加藤司書」を献

奏、尺八琴古流明暗流会

員が「虚空鈴慕」を献笛、

筑前今様道場幸都館会員

が「加藤司書公」を献吟

した。

毎回、興味深い話を聞

かせてくれる明治維新史

学会会員、力武豊隆さん

の今回の卓話は「『乙丑

の獄』はなぜ起きたの

か?」藩主、黒田長溥

公を勤皇派だったと見る



卓話をする力武豊隆さん

演奏する「若宮司書太鼓」



向きは多いが、その考えは間違っていると思う、と語った。

司書公ゆかりの犬鳴御別館跡がある福岡県宮若市に伝わる「若宮司書太鼓」は、勇壮な、あるいは物悲しい音を聞かせて追悼会を締めくくった。

メンバーは勤めがあるので休日しか来演できない。前年の追悼会は土曜日で、二十三年ぶりの演奏が実現。今回は日曜日で、二年連続の来演がなかった。

るかもしれない。その場合はアメリカ、ロシアに通商を許可したお礼として英仏の打ち払いを命ずればよい。「これすなわち異国を以て異国を制し皇国の兵を損せざる上策に御座候」

こうしたことは通商許可に伴う「小害」である。

開国拒否、打ち払いによって生ずる「大害」と開国の場合の「小害」を比較するならば「大害」を捨てて「小害」を取るべきである」というのが長溥の論旨である。諸侯の中には開国拒否、打ち払いを主張する攘夷論者もあり、その筆頭が水戸の徳川斉昭であった。

斉昭は「ペリーの艦隊を奇襲して船も人もぶんどってしまえ」と冗談か本気かわからないようなことを言って閣老を閉口させていた。

長溥は斉昭に代表される攘夷論者のことも十分考慮している。それは米露と英仏の取り扱いに差をつけるという論旨にもあらわれている。もともと長溥の本意ではなく攘夷論者に開国のやむなきことを納得させるための方便であったようだ。

黒田長溥の開国論は群を抜いた卓見であり、その後の事態の推移は彼が予見した通りであった。

長溥が広い視野をもって情勢を的確に判断したのは彼自身の素質と筑前藩が置かれている環境によるものであった。

長溥は薩摩藩主・島津重豪(しげひろ)の第九子である。重豪は薩摩人らしい豪快な気風をもった人であったが一面、海外の新知識に対する関心も人一倍強かった。オランダ語も学んでいてシーボルトが重豪にはじめて会った時「この高貴な老人はオランダ語を少し話した」と驚いている。

重豪の三女・茂姫は十一代將軍家斉(いえなり)の夫人で、重豪は將軍の岳父であったから江戸高輪の藩邸はご機嫌伺いの訪客引きもきらず高輪下馬將軍の異名があった。

(この項続く)

# 玄界島 勤皇三烈士の墓

## 守り続ける島の人たち

福岡市の博多港から北西約十八キロの洋上に浮かぶ周囲四キロの玄界島（福岡市西区）に福岡藩勤皇の烈士、堀六郎と齋田要七の墓がある。昨年の秋の彼岸には、島の自治会の手で墓前に花が供えられていた。一昨年もそうだった。墓は島の人たちが守り続けている。

文久三年（一八六三）八月十八日の政変で京都を追われ、福岡県の太宰府に在った攘夷派の「五脚」を、慶応二年（一八

六六）四月、徳川幕府が大坂に移そうとした際に堀、齋田の二人はこれを拒み、そのために玄界島に流刑になって同年七月九日、島の北側の大浜で斬首された。

二烈士の墓は、玄界島の渡船場から右回りに三分ほど歩いた所の島の納骨堂の敷地内の一角にある。一基の石塔に二人の名が並んで刻まれている。そばには、頭山満翁と廣田弘毅先生の署名が入った石の手洗い鉢がある。

元、福岡市宮渡船玄界航路の船長だった上田勇さん（71）は、島の戦没者遺族会世話人だったころ、毎年、納骨堂で戦没者慰霊祭をするときに二烈士の供養も行った。いまから十年前、平成十七年三月二十日の福岡県西方沖地震で島は壊滅的な被害を受け、島の住人は復興までの三年間、福岡本土の仮設住宅住まいを余儀なくされたが、その間も上田さんは春、秋の彼岸、盆には島に戻り二烈士の供養を欠かさなかった。

二烈士の墓は、二烈士の処刑後、島の北側の処刑場の跡に建立された



花が供えられた堀六郎、齋田要七の墓

る。先祖の供養や盆、彼岸のお参り、戦没者慰霊祭などで納骨堂を訪れる島の人には、二烈士の墓も由来もよく知られている。島の最長老で九十二歳まで漁に出て、タイの一本釣りの名人といわれた寺田宇一さん（95）も「手洗い鉢に頭山さん、廣田さんの名が書いてある」と話す。

元、福岡市宮渡船玄界航路の船長だった上田勇さん（71）は、島の戦没者遺族会世話人だったころ、毎年、納骨堂で戦没者慰霊祭をするときに二烈士の供養も行った。いまから十年前、平成十七年三月二十日の福岡県西方沖地震で島は壊滅的な被害を受け、島の住人は復興までの三年間、福岡本土の仮設住宅住まいを余儀なくされたが、その間も上田さんは春、秋の彼岸、盆には島に戻り二烈士の供養を欠かさなかった。

渡船場から見た玄界島



### 議員の会

#### 新陣容決まる

福岡市議会議員で構成する「玄洋社に政治を学ぶ議員の会」の、平成二十七年統一地方選を受けての新陣容が決まった。会員数は二十八人。会長に光安力議員が就任した。津田信太郎議員が引き続き事務局を担当する。

前期限りで市議を引退した前会長は妹尾俊見氏（玄洋社記念館理事）と、前々期で市議を引退した相談役の津田隆氏（同）の二人を顧問に迎えた。昨年十二月に新陣容で最初の総会と記念講演会を開催した。

前期限りで市議を引退した前会長は妹尾俊見氏（玄洋社記念館理事）と、前々期で市議を引退した相談役の津田隆氏（同）の二人を顧問に迎えた。昨年十二月に新陣容で最初の総会と記念講演会を開催した。

同学ぶ会は「玄洋社」から政治の本質、真の政治を学ぼうと、辛亥革命百周年の同二十三年に、妹尾氏と津田氏が発起人となって発足した。

#### 大名小跡の利用

#### 堤田市議が質問

福岡県からの初の総理大臣で玄洋社員、廣田弘毅先生の母校でもある旧福岡市立大名小学校の跡地利用問題で、堤田寛・福岡市議（玄洋社に政治を学ぶ議員の会会員）が昨年九月十五日の市議会一般質問に立ち「百四十年という学校の歴史を踏まえ先人の足跡を未来に伝えたいでいくことは重要だと思うが」と、跡地利用に当たっての市の視点を質した。

同校は周辺校の舞鶴、箕子両小学校との統廃合で一昨年に閉校。玄洋社記念館理事で昨年、同市議を引退した妹尾俊見氏が市議当時、校舎を活用して福岡市が輩出した先人の実績を伝承する「先人館」の開設を提唱していた。

堤田市議は妹尾氏の後継者で、妹尾氏の提唱を引き継いだ。「先人館」の実現が期待される。

市は地元の「旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会」の意見や市民の意見を聞いて二十七年途中で構想を策定する、と答弁した。

同校は周辺校の舞鶴、箕子両小学校との統廃合で一昨年に閉校。玄洋社記念館理事で昨年、同市議を引退した妹尾俊見氏が市議当時、校舎を活用して福岡市が輩出した先人の実績を伝承する「先人館」の開設を提唱していた。

堤田市議は妹尾氏の後継者で、妹尾氏の提唱を引き継いだ。「先人館」の実現が期待される。

市は地元の「旧大名小学校跡地まちづくり構想検討委員会」の意見や市民の意見を聞いて二十七年途中で構想を策定する、と答弁した。

# 玄洋社と強固な絆

## 孫文ことし生誕150年

辛亥革命によって中国近代化の幕を開き中国、台湾で「国父」と慕われる孫文は、一八六六年十一月十二日の生まれで、

ことし生誕百五十年を迎える。日本に亡命し革命運動に奔走する孫文を多くの日本人が支援しているが、特に頭山満翁を先



孫文

頭にいた玄洋社の物心両面にわたる強力な支援は孫文と玄洋社の間に強い絆を生んだ。

節目の年を迎えて、国内の孫文ゆかりの地で追憶の催しも開催されることだろうが、孫文支援を通じて発揮された玄洋社のアジアの開放、近代化に向けた情熱を、今、個人で、改めて回顧するのも意義深いことといえる。

孫文は一九一一年の辛亥革命成功後、一三年、革命成功報告のために来

日した。日本各地を訪れているが、福岡市では、支援を受けた玄洋社員の訪問や物故者の墓参に多くの時間を割き、絆の強さをうかがわせている。

当時の西職人町（現、中央区舞鶴二丁目）の玄洋社訪問では、飾らない歓待に満足の表情を浮かべ、社員と談笑している。

### お知らせ

#### 本紙の文字を拡大

本紙「玄洋」は、記事をより読みやすくするため本号、平成二十八年一月一日付百二十三号から、紙面の文字を大きくしました。従来の十四級という大きさの活字から十五級への変更で、文字の一辺が〇・二五ミリ拡大されました。

日刊新聞はじめ各種印刷物は、だれにでも読みやすくするため使用活字を拡大する傾向にあり、本紙もその必要性を感じ対応しました。

今後とも「玄洋」をご愛読くださるようお願いいたします。

### 賛助会員芳名録

(平成27年10月24日現在・敬称略)

#### ▼個人の部

#### 【二万円】

- 小石原淳一 (福岡市)
- 山崎 泰生 (那珂川町)
- 飯盛 利弘 (志免町)
- 廣瀬木綿子 (福岡市)
- 飯島 健児 (東京都)

- 箱田 慎二 (寒川町)
- 高場 康幸 (古賀市)
- 加藤 幸子 (同)
- 中村 佐枝 (福岡市)
- 永島 英也 (同)
- 山崎 拓 (同)
- 吉田 慧子 (同)
- 堺 弥蔵 (同)
- 酒井 智堂 (鹿児島市)
- 速開 正澄 (福岡市)
- 進藤 邦彦 (同)



# 新年 謹賀

平成二十八年元旦

建設コンサルタンツ  
建設事業の計画・調査・設計・施工管理

ジーアンドエス・エンジニアリング株式会社  
代表取締役会長 花田 和久  
代表取締役社長 児玉 和久

本 社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一九  
〒八二・〇〇七 電話 092・48113100  
東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目三三〇一  
〒一六六・〇〇三 電話 (03) 537815800  
営業所 千葉・浦和・神奈川・山口・佐賀・北九州・大分・長崎

#### ◇鮮魚卸業◇

株式会社 アキラ水産

代表取締役社長 安部 泰宏

AKIRA  
Old, Fresh! Sea foods.  
本 社 福岡市中央区長浜3丁目11-31  
電話 092171116601(代表)  
関連会社/株式会社コウトク水産

損害保険コンサルタンツ  
太宰府天満宮前駐車場  
漢方薬相談 とおりゃんせ

(有)日産企画 大江田 信  
薬剤師 大江田 美子

〒818 017 太宰府市宰府三丁目四十二  
〇九二一九二四一六二九六

造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信



本 社 〒815 025 福岡市東区青葉一丁目六一五三  
TEL 〇九二一六九一 一〇七七八代  
FAX 〇九二一六九一 一四五五四  
E-mail: info@shouten.co.jp

(財)日本医療機能評価機構認定

開放型病院・臨床研修指定病院

原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588  
福岡市東区青葉6丁目40番8号  
☎092-691-3881(代)  
http://www.haradoi-hospital.com/

# 玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

第65回

## 同時代から見た頭山満

⑨

―書と人物―

福岡市および宮若市の記念碑に残る頭山満の書を紹介します。石瀧著『玄洋社・封印された実像』（海鳥社）収録の「玄洋社関係史跡一覧」、および石瀧作成「玄洋社関係史跡マップ」（非売品）で紹介したことがあります。目、臨済宗の横岳山崇福

寺は福岡藩主黒田家の菩提寺として知られます。その墓地の一角が玄洋社墓地で、奥に高場乱（おさむ）・頭山満・来島恒喜の墓が並んでいます。墓地の中央にあるのが頭山書「殺身成仁（さっしんせいじん）」の文字を刻んだ五輪塔。写真①です。側面には「昭和十一年十月改葬 玄洋社」とあり、社員の墓を合葬



①

したことを示しています。「殺身成仁」（身を殺して仁を成す）の



③



②

出典は論語です。「身を殺して」は自分を犠牲にする、という意味です。

次に「人參畑塾」碑。写真②。博多駅前四丁目、住吉通りに面して、グリーンビルの壁面に沿って

科医・漢学者の興志塾（通称・人參畑塾）の跡に建てられました。

「松浦愚之碑」写真③は福岡市南区平和四丁目、平尾霊園の「魂」の碑の一面にあり



④

あります。玄洋社生みの親と言われる高場乱（女性、眼科医・漢学者）の興志塾（通称・人參畑塾）の跡に建てられました。

「松浦愚之碑」写真③は福岡市南区平和四丁目、平尾霊園の「魂」の碑の一面にあり

を逆に彫っていること。

この三人を「三崎烈士」と言います。

ます。この碑は、もう三十年以上も前、私が通りがかりに偶然、福岡市の民家に放置されているのを見つけ、進藤一馬さんに連絡しましたが、その時はすでに場所を移されていた。その後、現在地に保存されたものです。松浦愚は高場乱の弟子で、頭山満らとともに萩の乱連累の嫌疑で捕らえられ、獄中に病を得て亡くなった人です。惜しむらくは題字の筆者名が「頭山書満」と三・四文字目

「殉難 三崎三郎君之碑」

「殉難烈士 三崎三郎君之碑」

「三崎烈士」と言います。

うかつと言えはうかつですが、石工としてはありえないような間違いです。

「殉難烈士 山崎羔三郎（こうざぶろう）君之碑」写真④は宮若市にあります（山口コミュニティセンター前）。題字は頭山満、碑文は田中義一（陸軍大将・男爵・首相）で、意外な組み合わせと言えます。山崎羔三郎は玄洋社員で、明治二十七年、日清戦争で潜入偵察中に清国軍に捕らえられ、鐘崎三郎・藤崎秀と共に処刑されました。